

都市・建築にかかわる社会システムの戦略検討特別調査委員会
建築・社会システムに関する連続シンポジウム(2010年実施)

委員長 南 一誠 (芝浦工業大学)

市民、他の分野の専門家を対象とした普及・啓発を目的としたシンポジウムと、建築・都市計画の専門家を対象とした研究的性格の強いシンポジウムの両方を、並行して企画・実施している。

- ・ **第1回 6月5日(土) 市民社会の建築・まちづくりー新たな制度と仕組みの提案ー**
 荻原敬：地域主権で始まる本当の都市計画・まちづくり
 長島孝一：市民社会の価値観と専門家の知見を活かす建築・まちづくり
 参加者 92名 (会員 62名、会員外 16名、学生 14名)

- ・ **第2回 7月5日(月) 建築関係法の課題ー建築基準法単体規定を中心にー**
 松本光平：建築規制法の意義と限界
 神田順：建築基本法制定の意味
 辻本誠：メンテナンス無しの規制法
 杉山義孝：建築ストック社会における建築規制の在り方
 参加者 80名 (会員 64名、会員外 8名、学生 8名)

- ・ **第3回 7月13日(火) 裁量性を有する建築規制の可能性**
 中井検裕：計画許可制度の可能性と課題
 柳沢厚：裁量性と基準詳細化との関係
 黒木正郎：集団規定の許可制移行の影響・建築主の論理と設計実務の現場から
 松本昭：まちづくり法としての建築規制を考える
 参加者 55名 (会員 41名、会員外 8名、学生 6名)

- ・ **第4回 7月31日(土) 市民参画社会における建築関連法制度**
 五十嵐敬喜：建基法改正私案
 小林敬一：地域で建築をつくる条件
 日置雅晴：確認による弊害事例と市民参加型調整による展望
 神田順：確認制度から協議調整による許可制度へ
 参加者 123名 (会員 57名、会員外 38名、学生 28名)

- ・ **第5回 10月29日(金) 建築構造設計にかかわる法制度のあるべき姿**
 金田勝徳：法と建築構造設計

吉江慶祐：構造設計を支える法制度のあり方

水津秀夫：小事に拘り大事を忘れている－耐震安全性の危険

可児長英：豊かな設計を生み出す環境の整備に向けて－構造設計者の切磋琢磨と次世代の構造設計者の養成が必須

・ 第6回 12月6日（月）建築における「環境」と「設備」のあるべき姿と法制度

近藤恵嗣：法と技術

池田耕一：室内環境と法制度

梅干野晁：屋外環境と法制度

坂本雄三：エネルギーと法制度

山下開：建築基準法と建築設備

牧村功：設備設計と法制度

高井啓明：設備施工と法制度

・ 参考① 1月12日（火）都市・建築にかかわる社会システムの戦略検討シンポジウム

あるべき建築関連法制度の構築に向けて

1) 建築関連法制度に対する本会の取り組みの経緯（神田順）

2) 新たな法規範へ向けた問題提起（黒木正郎）

3) 都市計画的視点から見た論点整理（中井検裕）

4) 環境工学的観点から見た論点整理（田辺新一）

5) 防災的観点から見た論点整理（竹市尚広）

参加者 113名（会員92名、会員外21名）

・ 参考② 3月12日（土）建築五会共催シンポジウム

新たな建築・まちづくりに関わる制度と仕組みはどうあるべきか

藤本昌也（日本建築士会連合会会長）、三栖邦博（日本建築士事務所協会連合会会長）

出江 寛（日本建築家協会会長）、野呂一幸（建築業協会設計部会長）、

佐藤 滋（日本建築学会会長）

参加者 198名（会員113名、会員外76名、学生9名）